

## オプション血液検査追加項目例

	項目名	検査内容
1	CRP定量	急性の炎症の発生の確認、細胞の破壊の程度の確認。 基準値が高い場合に疑われる病気（ウイルス感染症・細菌感染症・悪性腫瘍・心筋梗塞・膠原病）
2	CYFRA	CYFRAは肺がんのうち、扁平上皮がん、腺がん、大細胞がん等の非小細胞がんでは陽性率が高く、病気の診断、経過や治療成績の判定に役立ちます。
3	PSA	前立腺がん・肥大症などの指標となる腫瘍マーカーです。
4	CA125	卵巣がん、子宮がんにて特異な反応を示す腫瘍マーカーです。また、がんの進行とともに陽性率、測定値ともに上昇するため、治療効果の判定や再発予測の手段としても重要です。
5	CA15-3	乳がんなどに特異性があり、乳がんのスクリーニング検査に用いられています。初期の乳がんではほとんど陽性を示しませんが、転移性乳がんでは陽性率が高く、手術後の経過観察に大変有用な腫瘍マーカーです。
6	CEA	消化器系（胃・大腸・肝臓）がんの腫瘍マーカー。また、がん治療後の経過観察、再発や転移の早期発見にも重要です。
7	CA19-9	消化器系（膵臓・胆道）がんの腫瘍マーカー。早期発見に関しては有用性が低いのですが、治療効果を調べる場合などに役立ちます。また、肺がん、乳がん、卵巣がんなどでも高値を示します。CA19-9の数値が高く、CA125なども高値のときは、婦人科系のがんが疑われ、これらの腫瘍マーカーをあわせて検査することは卵巣がんの早期発見に有効です。
8	AFP	肝臓がんのスクリーニング検査として用いられる腫瘍マーカー。 肝臓がんでもAFPが陽性にならないものもあります。AFPが確認された肝臓がんでは、治療の効果があがれば数値は下がるので、治療の経過観察や再発の発見にも欠かせない検査です。
9	肝炎ウイルス検査 B型・C型	B型・C型肝炎に感染していないかどうかを調べる検査。 HBs抗原・抗体検査及びHCV抗体検査を実施します。
10	麻疹ウイルス検査	麻疹に感染していないかどうかを調べる検査です。
11	麻疹ウイルスIgG (EIA法)	麻疹のウイルス抗体検査で、過去に感染したかどうかやワクチン接種の効果を判定する検査。